



MOGI NEWS LETTER

「誇りと思いやり」

長崎市立茂木中学校
学校だより 第2号
令和8年4月21日

文責 校長 須賀野 由美

自然豊かな中での歓迎行事

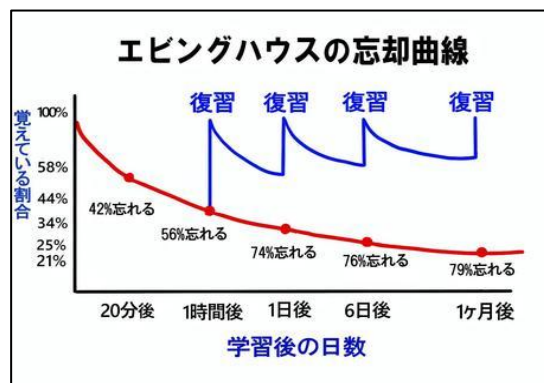
17日(金)の歓迎行事は、部活動紹介、防災教育、交流レクそして転石公園への遠足と、盛りだくさんのメニューで、生徒会の2・3年生が中心となって1年生を歓迎してくれました。往路の急な坂道が職員にはかなりこたえましたが、生徒たちは公園到着後もドッチボールに全力で挑んでいました。ビワや夏みかんの木々、ヤギやトンボなどの生き物を眺めながら歩き、茂木の自然の豊かさを感じることができました。まだ4月だというのに、転石公園では蚊の襲撃に遭いました…最後に新1年生が先輩たちに礼儀正しくお礼の挨拶をして、帰路につきました。生徒会の皆さん、さまざまな準備と当日の進行、ありがとうございました。



なぜ家庭学習が必要なのか？

本校では、全校生徒が毎日家庭学習に取り組み、ノートを提出することにしています。ちらほら「強制だ〜!」「なんでしないといけないの?」という声が聞こえてきます。始業式で、「勉強することも自分を大事にすること」という話をしましたが、この予測困難な時代を生き抜くには、様々な課題を解決したり、乗り越えたりする力が必要です。困ったり迷ったりしたときに、正しい選択をしたり、自分の身を守ったり、人を救ったり、世の中に貢献したりと、学んだことは様々な場面で生かされます。大人になってから、もっと勉強しておけばよかったと感じることは多いものです。

また、家庭学習が必要な理由は、人間の脳が、一度覚えたことを驚くほど速く忘れる仕組みだからです。心理学者エビングハウスが提唱した「忘却曲線」によると、人は何かを学んだ直後から忘却が始まり、1日後には約74%もの内容を忘れてしまいます。この知識が完全に消え去る前(授業を受けたその日のうちが効率的)に「家庭での復習」を行うことで、記憶を脳に定着させることができます。さらに、間隔を空けて複数回繰り返すことで、忘れにくい知識に変わります。「いつ、何を、どれくらいやるか」を自分で決めて実行する経験も、受験勉強だけでなく将来の仕事にも必要なスキルです。「やらなきゃ」という気持ちが、毎日の習慣になり、自然にできるようになり、やがて頑張りが結果につながったり、自分で調べたいことを追求したりして、学ぶことが少しずつ楽しく、充実していくことを願います。



23日は「学力調査」が実施されます 全国(3年)・県(2年)・市(1年)

調査問題は、今の時点で「このような問題を解決できたり、表現したりする力をつけてください」というメッセージでもあります。得意なことや克服すべき課題を客観的に把握でき、生活の習慣(朝食、メディア利用等)と学力との関係等も分析されます。前の学年までに学習したことを、少しでも見直し、「こんなことを勉強したな」と思い出しておく、よい結果につながるかもしれません!